

健康と生きがい。がシニアライフを考える

# 海風

特別・特定医療法人社団  
社会福祉法人

松涛会広報誌

No.30 盛夏号  
平成22年

## 理念

「医療・介護・福祉の連携、  
地域との連携」の推進により、  
心豊かな地域社会に  
貢献いたします。



### ケアタウン山の田4月1日開設

「ケアタウン山の田」の設立にあたり

山の田クリニックスのご紹介

新たなサービスの創造を目指して

高齢者専用賃貸住宅

小規模・多機能型居宅介護事業所

グループホーム

リハビリ施設

院外調剤薬局

山の田クリニックス健康教室

### 松涛会の取り組み紹介

安岡ナイトケアヘルパステーション4月1日発足

回復期リハビリテーション イブニングケア開始

フットケア3年目を迎えて

ICTラウンド開始しました

しおかぜの里保育園との交流会について

「松涛会50周年記念行事」プロジェクト委員会発足

松涛会広報委員会発足

### トピックス&ニュース

老健施設にコスモス学校開設

ドレスの花嫁？勢ぞろい

下関市老人福祉施設職員ボウリング大会

カップルで買い物ツアー

平成21年度QCサークル活動結果発表！

第15回「海の日表彰式」

社会福祉法人松涛会平成21年度決算報告書

社会福祉法人しおかぜの里保育園 理事長 就任

彦島地域を支える

「ケアネットワーク構想」平成23年4月オープン



# ケアタウン山の田4月1日開設

## 「ケアタウン山の田」の

設立にあたり



医療法人社団松涛会 理事長

齋藤 正樹

## 山の田クリニックの ご紹介



山の田クリニック  
院長  
大田 英則

山の田クリニックは、松涛会グループの診療所で、「ケアタウン山の田」の1階にあります。場所は、国道191号線を山の田交差点から下関駅方向へ約500メートル下った、旧ベスト電器跡に位置しています。

山の田クリニックには、一般の外来診療の他に、ケアタウン山の田に入所、入居されている方の健康管理や診療も行っています。

お車でおこしの方は、駐車場（ケアタウン山の田内セブンイレブンと共有）があります。来院、受診は問題ありません。

最近、独居老人、老老介護等、高齢者の住む環境は大きく変化しています。このような状況で、医療・福祉の視点から医療・介護の融合、居住の確保を目的として、「ケアタウン山の田」を設立しました。

内容は、クリニック・リハビリ・調剤薬局・高齢者専用賃貸住宅50室・グループホーム（ユニット9名）小規模多機能型居宅介護事業所（登録定員25名で、デイサービス・ショートステイ・ヘルパーの組合せで、安全確認等馴染みの顔でサービスするなどです。付近には、マンション・アパート群が存在するため、利便性の高いコンビニ（セブンイレブン）も設置しております。

以上の諸機能が一体的に利用されるよう、スタッフ一同努力いたしますのでよろしくお願いたします。

私は、今年3月までは、下関厚生病院の副院長で、脳神経センター長、脳神経外科主任部長を務めていました。専門は脳神経外科、脳卒中ですが（両方とも学会認定の専門医）、神経内科疾患、内科的疾患やリハビリの診療も行い、生活習慣病や運動器不安定症等にも対応致します。診療機器では、CTを備え、頭部の検査は勿論、胸部や腹部の検査も行えます。予約なしでも即時対応が可能です。また、診療所内に十分なスペースを持つリハビリ室があり、やる気のある優秀な理学療法士、作業療法士を配置しています。神経疾患関係のリハビリ、運動器関係のリハビリができます。低周波などの理学療法も可能です。運動器不安定症（ロコモ）と呼ばれる、転倒しやすい高齢者のトレーニングにも力を入れています。脳卒中では、発症後6カ月は回復期リハビリといいますが、この回復期を過ぎた、慢性期（維持期）のリハビリも積極的に行っています。介護保険のリハビリにも対応しています。

### 高齢者専用賃貸住宅(50戸)

クリニック

リハビリ施設

調剤薬局

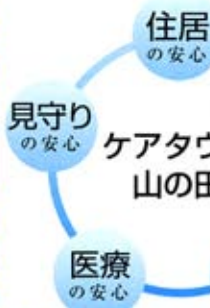
### 小規模多機能型居宅介護

- 通所介護（デイサービス）
- 訪問介護（ホームヘルパー）
- 短期入所（ショートステイ）

グループホーム

食堂

コンビニエンスストア



ケアタウン山の田へ入居、入所される方には、健康管理や診療も行っています。お車でおこしの方は、駐車場（ケアタウン山の田内セブンイレブンと共有）があります。来院、受診は問題ありません。

ただ、診療所ですので、すべての急変に対応できるわけではありません。また、診療所の機能を考えると、夜間や時間外の対応も十分できるわけではありません。その場合には、スムーズに救急対応可能な病院への連携体制をとっています。山の田クリニックの特徴を知って頂き、気楽にご相談におこし下さい。よろしくお願いたします。

- 【診療案内】 脳神経外科・内科・神経内科・リハビリテーション **※CT検査可**
- 【診療日】 月曜日～土曜日
- 【診療時間】 9:00～18:00  
※水、土曜日は9:00～12:30
- 【受付】 ☎083-250-7181

## 新たなサービスの創造を目指して



ケアタウン山の田  
拠点長  
黄丹 絵美子

桜の咲く季節に、新しい住まいの提言としてオープンしたケアタウン山の田も4カ月が経ちました。入居者の方々も落ち着いてこられ、この気ままで安心な新生活を楽しんでいらっしゃいます。私たちスタッフも事業所間の連携を密にして、共用スペースの賢沢さの中にも、陽だまりの様な温かな雰囲気を出せるよう一生懸命がけております。

今後、この複合施設が地域に溶け込んで、地域の方々からも愛されるようなケアタウン(町)づくりを行きたいと思えます。

## 高齢者専用賃貸住宅

心身ともに健やかに過ごしていただける安心の暮らしを目指します。

管理者  
黄丹 絵美子



## 小規模・多機能型居宅介護事業所



小規模多機能  
ケアタウン山の田  
事業所長兼看護師  
臺 なおみ

元気で明るく、ゆったりと一日一日を楽しみましょう！

## グループホーム



グループホーム  
小規模多機能  
ケアタウン山の田  
管理者  
辻村 堯子

ゆったりと温かい雰囲気施設を目指します。

## リハビリ施設



山の田クリニック  
リハビリテーション科  
作業療法士  
山本 直美

明るい空間と笑顔で、個々のニーズにお応えします。

## 院外調剤薬局

- 山の田クリニック・菜の花薬局山の田
- 彦島内科・パワフル薬局
- 安岡病院・パワフル薬局横野店

患者様から信頼される、かかりつけ薬剤師を目指します。  
よろしくお願いたします。

## 山の田クリニック健康教室

山の田クリニック 看護師主任 植田 玲子

地域に根ざしたクリニックとして健康増進に寄与することを目的とし、山の田クリニック大田院長が5月より開催致しました。健康教室に参加することにより、病気に対する意識が高まり、健康増進に役立ち、生きがいのある生活に貢献できればと思います。

クリニックを受診される方々や施設利用者・地域の皆様の声に耳を傾け、その中から意見・要望を取り上げ、毎月第2土曜日の午後2時より無料で行っています。

高齢化が進む今日、「心と身体」の健康づくりを指標に、ケアタウン山の田を多くの方々周知して頂き、地域に密着した医療を提供していきたいと思えます。



月日	内容	講師
5/8 (土)	日本人の食習慣と生活習慣病 相談コーナー、体験リハビリ、薬相談、骨密度測定、栄養相談	山の田クリニック院長 大田英則 安岡病院管理栄養士主任 江本弓子
6/12 (土)	老年症候群とは？ 寝たきりにならないために ケアピクス体操	山の田クリニック院長 大田英則 山の田クリニック理学療法士 栗原真 作業療法士 山本直美 老人保健施設コスモステイケア 看護師長 水野佳代子
7/10 (土)	すこやかに生きる	松涛会グループ理事長 斎藤正樹
9/11 (土)	認知症について	山の田クリニック院長 大田英則
10/9 (土)	運動器不安定症 (ロコモティブシンドローム) について 転倒・骨折の予防のための工夫	山の田クリニック院長 大田英則 山の田クリニックリハビリ

※各講座とも14時

## 安岡ナイトケアヘルパーステーション4月1日発足



安岡ナイトケア  
ヘルパーステーション  
課長 植田 史

平成22年4月開設、6月よりサービスを開始いたしました。このサービスは夜間対応型訪問介護事業で、平成18年の介護保険改正で地域密着型サービスのひとつとして創設され、夜間を含め24時間安心して自宅で生活出来るよう、夜間の定期巡回による訪問介護と、通報による随時対応の訪問介護を組合せ包括的にサービス提供を行います。

当事業所では、「テレビ電話」によるオペレーションセンターサービスがあり、夜間いざという時にいつでも連絡が取れる体制を確保することで在宅生活での安心感が醸成され、且つ、お互いの表情を見ながら対話ができるので、一層の安心感を得ることが可能で、今後の在宅生活には必要不可欠なサービスと考えています。

本事業のPRについて、去る7月14日、市内の居宅介護支援事業所のケアマネさんを対象に、地域交流ホームにおいて事業説明会を開催。31事業所の参加があり、関心の高さが窺えました。

尚、当事業所は、地域ケアサポートセンター内にあり、お気軽にお立ち寄り、或いは利用者のご紹介をお待ちしております。



## 回復期リハビリテーション イブニングケア開始

リハビリテーション科長 品川 紀史

平成22年度が始まり松涛会内で理学療法士・作業療法士・言語聴覚士合わせて50名となりました。

回復期リハビリテーション病棟においても、21名のセラピストが専属で配置されています。休日の出勤体制も三倍に増員し、365日休まず安心してリハビリテーションが行えるようになりました。

回復期リハビリテーション病棟では、「生活そのものがリハビリテーションである」という考えのもとから、昨年12月よりモーニングケア（個別リハビリ）を開始しました。これにより朝

起床して、着替え、トイレ、食事という実際の生活場面でのリハビリテーションを実施することができるようになりました。今年の九月からはイブニングケアも開始する予定で、朝7時から夜7時までの一日を通した個別リハビリが始まります。

施設サービスから在宅サービスへの移行が検討されている中、患者様が回復期リハビリ病棟から維持期の在宅リハビリテーションへの移行を安心して行えることができる様に支援できればと思います。

## フットケア3年目を迎えて

7病棟看護師 金子 栄

現在社会でも足のトラブルを持った人も多く、フットケアが重要視され色々なところで研修会が行われています。

足の役割には、バランスをとる・クッションの役目・ポンプ作用があり、ケアが不十分な為に寝たきりやADLの低下を招き、QOLの低下を起している入院患者、利用者も少なくありません。

今まで爪に対する関心が不十分であり爪白癬・巻き爪・肥厚爪に対するケアが十分行われていませんでした。その為、専門的な知識や技術を身につけるため、3年前よりフットケアチームを立ち上げ研修に参加しました。そして、入院患者、利用者に対し正しい爪切り・トラブルの悪化防止を行って行きました。

ケアを行った患者より「痛みが取れた、足に力が入るようになった」などのことばもきかれケアの成果も現れてきています。

これからは、スタッフ全員がフットケアの重要性を認識し関心をもって、ケアの充実が図れるように取り組んで行きたいと思っています。



## ICTラウンド開始しました ICT委員 刀禰 美津子

院内感染対策委員会は、月1回の定例会議を行っています。会議では感染サーベイランスや感染症発症時の拡大防止対策等の検討を行っています。院内感染を予防するためには、すべての医療従事者が正しい対応を実践しなければなりません。

感染対策委員会の実働部隊として、ICT（感染制御チーム）委員会が、今年の3月から院内ラウンドを開始しました。ICTの役割は、実践現場での状況を実際に確認し、指導、援助することで感染予防を行っていくことです。

メンバーは、医師、薬剤師、検査技師、看護師です。ラウンドは月2回行い、ICTメンバーに加え看護師3名も参加しています。そして、ラウンドの評価を各部署に配布し、スタッフ全員に自分の部署の状況と改善点を知ってもらうために一覧表にして公表しています。また、ラウンド時には直接、良かった点とともに出来ない点についてその場で介入し指導を行っています。ラウンドの結果は、手洗い、医療廃棄物の処理、リキャップ、水回りの清潔が守られていませんでした。

まだまだ開始したばかりですが今後、ラウンドの充実、定着を図り、正しい感染防止対策が行えるよう活動を行っていきたいと思います。

しおかぜの里保育園との交流会について

6月3日、しおかぜの里保育園より、園長先生はじめ17名の園児さんたちが来所され、ご入居の皆様、デイサービスをご利用の皆様たちと、交流会を行いました。

元気なご挨拶のあと、歌やお遊戯を披露してくれました。可愛い園児さんたちの一挙手一投足に、観ている皆様の顔は思わずほころびます。その一生懸命な姿に、身を乗り出して、拍手を贈られていました。

園児さんたちが、皆様の席の中に入って行った「ずいずいところばし」では、皆様の年季の入った手と、園児さんたちのもみじの様な手が入り混じり、明るい歓声が館内に



フロイデ彦島 生活相談員 福本 玲

響きわたりました。

最後に、入居者の皆様へ花束と、可愛いカエルの人形をプレゼントとしていただきました。

核家族が普通になった今、こうしたお孫さん、ひい孫さんの世代とのふれあいは、ご家族と離れて暮らされている皆様にとっては、何よりの癒しとなります。これからも温かい心の通った交流会を、続けてまいりたいと思います。



「松涛会50周年記念行事」

プロジェクト委員会発足

松涛会50周年記念実行委員 松井 利三

松涛会は、昭和35年12月1日、現在の彦島居宅介護支援事業所の場所に、「斎藤内科」という診療所を開業して以来、本年12月1日に「満50歳」を迎えます。「光陰矢の如し」と言いますが、あつという間の50年間、沢山の方々のご支援のお陰で今日に至っている。」との理事長の感謝の言葉の下、お世話になった各方面の皆様にも少しもお役に立てばと思い、去る4月28日に、委員長に理事長、副委員長に副理事長・常務、メンバーに原院長・浅田・小原・森國・坂本・黄丹・飯田・藤田・長崎・村上・品川・石川・山瀬・松谷・松井（事務局）の18名で上記プロジェクト委員会を発足させました。

委員会3回、作業部会1回と緒に就いたばかりですが、皆様に大切にして頂けるような「50周年記念誌」、喜んで頂けるような「記念講演会」、一緒に楽しんで頂けるような「記念文化祭」等を企画しております。

職員をはじめ、各方面の方々のご協力をお願いする事になろうと思えます。その折には、何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様、乞うご期待くださいませ。



松涛会

広報委員会発足

松涛会広報委員会 委員長

斎藤 英樹

7月1日、医療法人松涛会と社会福祉法人松涛会を跨る広報委員会を立ち上げました。

目的は、院内・施設において、患者様やご家族様にとって伝わりやすい掲示。医療・福祉従事者にとって見易い情報共有及び発信。院外では、他の医療・福祉従事者へ松涛会グループ事業所個々の広報に焦点をあて、随時更新していくこと。

委員会メンバーは、少数精鋭での活動から8名でスタートしました。

他の医療機関や福祉機関を参考にしながら、明確で新しい情報発信、情報共有をしていきたいと思えます。

## 老健施設にコスモス学校開設

コスモス学校校長 兼 老健施設コスモス 看護師長

長崎 達郎

平成22年3月1日、老人保健施設「コスモス」において、入所者に国語や算数等の授業を通して学校の雰囲気を感じてもらおうと第一期「コスモス学校」を開設しました。

4ヶ月間のプログラムで、67歳～98歳のコスモス入所者とデイケア利用者、グループホーム入所者30人が1日3科目を受講。職員が国語、算数、社会、図工、音楽、体育の6教科から自分の得意科目を教える運営いたします。同日、開校式があり、「学生時代を思い出して和気あいあいと勉強してください」と激励しました。入所者代表の女性(83歳)は「みんなで楽しく学びます」と抱負を述べられました。

生徒さん達は当時を思い出しながら、楽しく活き活きとプログラムを消化。去る、6月30日に第一期「コスモス学校」の閉校式を行い、全員に修了証書が手渡されました。尚、第2期「コスモス学校」は8月4日に開校します。



## ドレスの花嫁？ 勢ぞろい

ケアハウスオリーブ 相談員

植田 学

3月17日(水)ケアハウスオリーブ食堂は、ウエディングドレスのファッションショーと言わんばかりの賑わいでした。ドレスはすべて、オーブン25周年を迎えたマリアージュ玉姫殿からの寄贈で、岡村総支配人の提案で実現いたしました。

モデルになっていただいたのは、ケアハウスオリーブの入居者とコスモスデイケアの利用者、さらにはオリーブの山瀬事務長も加わり計6名。それぞれがマリアージュ専門美容室のスタイリストからメイクをしてもらい、真紅、緑、青など色鮮やかなドレスを着ての登場で、嬉しいやら恥ずかしいやらと会場は笑顔でいっぱいとなり、良い思い出づくりのひと時となりました。



## 下関市 老人福祉施設職員 ボウリング大会

はまゆう苑 課長兼相談員

松谷 法史

6月27日(日)下関市老人福祉施設職員ボウリング大会が行われました。この大会は、市内の老人福祉施設職員の親睦を目的とした大会で、今年は約140名の参加となりました。

松涛会グループからは、斎藤正樹理事長、他12名が参加。ゲーム成績は団体戦で見事優勝を果たし、3連覇を達成。個人戦では辻毅氏が優勝、他4名が入賞しました。

あつという間の短い時間でしたが、参加者の笑顔と楽しく会話をする様子が伺え、他施設職員との親睦を深めることができたのではないかと思います。大会に出席された皆様お疲れさまでした。



## カップルで 買い物ツアー

杜の宮 所長

中堀 詔子

小規模多機能施設杜の宮では、5月、職員と一対一で行く買い物ツアーを実施しました。行き先は「ゆめシテイ」。入り口を入ると、「わーきれい」。パンの試食コーナーでは「あんたもお食べ」。ポロシャツを買った男性は、女性職員に選んでもらってニコニコでした。また、行き帰りの車からの景色を見ながら昔話に花の咲く一場面もありました。私たち職員も次の行事企画が楽しみです。





## 平成21年度QCサークル活動結果発表!

松涛会QC委員会 委員長

浅田 光博

平成21年度QC活動は、11部署12サークルにて昨年10月から約半年間をかけて実施してきた。去る5月14日にはその成果発表会が行われた。初めて経験するQC手法に各サークル戸惑いながらも、現場での小さな改善活動が実感として理解できたのではないかと思われる。医療・介護サービスの視点から、また職場改善の見地から、全体的によくまとまった内容が発表された。

上位サークルは次のとおり。  
採点上から順位を付したが、各

### QC大会結果

優勝

嶺崎耕司とアフターファイブ(医事課)  
テーマ/電話取り次ぎ時間の短縮

2位

QCハニー(6病棟)  
テーマ/車椅子の点検を確実にしよう

3位

びったんこカンカン娘(コスモス通所)  
利用者の自主的な作業アップ

敢闘賞

回援隊(3病棟)  
リハビリパンツよさようなら

サークルとも僅差であり、特に1位と2位は同点で評価を分け合う格好となった。1位の医事課サークルは、目標達成とともにその経済効果まで示し、またプレゼンにも素晴らしいものがあつた。

今回の実施にて、全サークルともQC活動の意味をよく理解し、確実に改善結果を残したと言える。改善活動は、一定の結果を受けて「継続」して行くことが肝要である。問題解決のための手法や考え方が職場風土になるように、今後もQCサークル活動の意義は大きいと思う。

各サークルの皆さま、大変お疲れ様でした。

### 第15回「海の日表彰式」

日時:平成22年7月23日(金)10:30~12:00  
場所:亀山八幡宮儀式殿



今回「フロイデ彦島」が、海を綺麗にする為の一般協力者奉仕活動に対する受賞を受けた。

斎藤 英樹

フロイデ彦島 施設長

中尾市長は、「下関は3方向を海で囲まれている市。海と共に生活し仕事を。これからも頑張ってください。」と受賞者全員に言われ、我々の地域における環境ECO活動もひとつの評価として頂いたことが嬉しかった。

フロイデ彦島は、2005年10月1日にオープン。場所は、手つかずの白い砂浜がある(彦島では珍しい)遠浅の海岸が目の前に広がる。湾になっているため、1年中波が穏やかな一方で、日本・韓国・中国などのゴミが溜まる。職員がオープンしてから現在まで毎週木曜日に海岸清掃を行っている。

出てくるゴミの量は、業務用ゴミ袋で平均8袋分。重さでいえば一袋20kg程度。それを海抜0mから道路まで持ち上げるのが苦勞。階段を上りあがると、話をするのに息が切れる。

このような取り組みは、フロイデ彦島に入居されている人、地域の人の「きれいになりますね」「ありがとう」という、笑顔に支えられている。

### 社会福祉法人松涛会平成21年度決算報告書

#### 平成21年度事業活動収支計算書

(平成21年4月1日~平成22年3月31日) (千円)

事業活動収入	1,099,983
事業活動支出	980,969
事業活動収支差額	119,014
事業活動外収入	77,632
事業活動外支出	86,234
経常収支差額	110,412
特別収入	13,665
特別支出	0
当期活動収支差額	124,077
前期繰越活動収支差額	1,083,711
次期繰越活動収支差額	1,207,788

#### 平成21年度貸借対照表

(平成22年3月31日現在) (千円)

流動資産	557,990	流動負債	62,571
固定資産	3,080,531	固定負債	607,055
(基本財産)	2,735,619	基本金	1,018,688
(その他固定資産)	344,912	国庫補助金等特別積立金	742,419
		次期繰越活動収支差額	1,207,788
		(内当期活動収支差額)	124,077
資産の部合計	3,638,521	負債及び純資産の部合計	3,638,521

脚注 減価償却費累計1,159,990千円



社会福祉法人  
**しおかぜの里保育園** 理事長 **斎藤 正樹** 就任  
 (平成22年2月12日)

**しおかぜの里保育園**



安岡病院中庭(バラ園見学)

はじめまして。彦島にあるしおかぜの里保育園と申します。皆様のお仲間に入れていただき、ありがとうございます。

当園は、昭和25年の創立で、平成15年に社会福祉法人に移行しました。職員は13名、園児数は50名です。

広い園庭では、子ども達が元気に一杯に走り回り、お友達や先生と楽しい毎日を過ごしています。天気の良い日には、園の近くの西山海水浴場へ散歩に行きます。また、園内の畑では、玉葱やさつま芋等の植付から収穫までを体験し、給食で美味しくいただいています。非常に恵まれた自然環境の中で、子ども達はのびのびと育っています。

一方、消防や地元の行事にも参加したり、ホーム慰問や園の行事にお年寄りを招待する等、地域に根ざした活動も推進する中から、多くの人との触れ合いを通じ、思いやりや親しみの気持ちの大切さも理解してくれています。

今後も、園長以下職員一同一丸となって、60年の永い歴史と伝統を守り、地域や多くの皆様に愛され親しまれる保育園を目指して頑張ります。松涛会関係者の皆様、よろしくお願いたします。

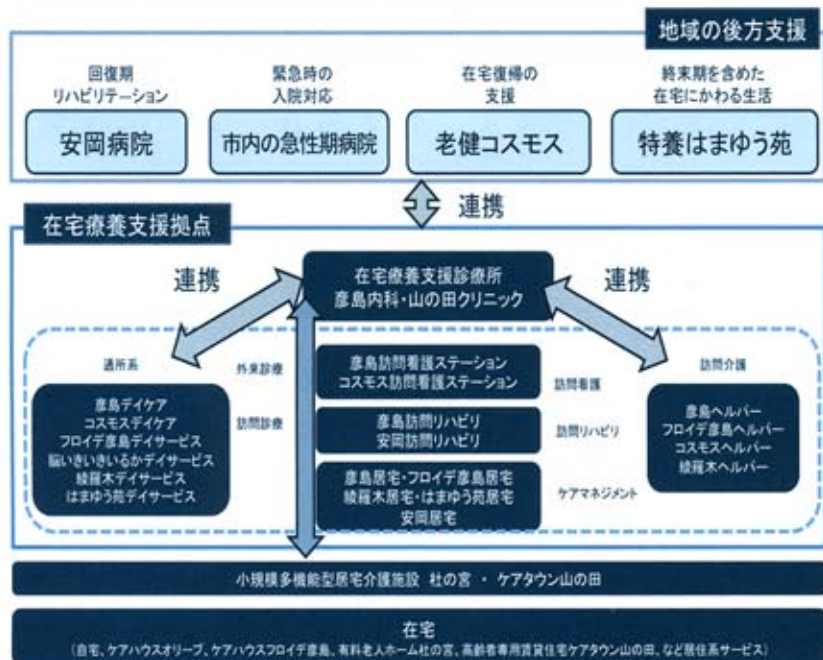
しおかぜの里保育園 事務局長

毛利 一

保育園職員一同

**彦島地域を支える「ケアネットワーク構想」平成23年4月オープン**

松涛会グループにおけるサービス提供者間・多職種間との連携・ネットワークの仕組みの構築イメージ



今般、下関市より、彦島圏域での「グループホーム」整備事業者として、(医)松涛会を選定して頂いたことに伴い、彦島内科をベースにした在宅療養支援拠点の更なる充実化に向け始動しています。

すなわち、現彦島内科の隣接地に、1F～在宅介護支援センター・訪問看護ST・訪問介護STの在宅支援拠点、2F～既存のデイケアの拡充と脳いきいきいるかデイサービスの通所系、3F～グループホーム、4F～ショートスティの施設系を計画。(既存のショートスティに有料老人ホーム「江の浦Ⅰ」を計画)、更に現居宅介護支援センター・脳いきいきいるかデイサービスの跡地に、小規模多機能居宅介護事業所と有料老人ホーム「江の浦Ⅱ」を計画しております。正に、「医療」と「介護」・「福祉」のより密接なる連携が図れる拠点となり、彦島地域の皆様方の安心と安全に大きく貢献していくものと確信している次第です。

安岡病院 事務長 松井 利三